

3

中央会月刊誌



中小企業かごしま

2024 第825号

■ 特集：「特定地域づくり事業協同組合シンポジウムin奄美市」開催!!



慈眼寺公園のネモフィラ（鹿児島市）

中央会 共済制度をご活用ください！

中央会では、中小企業の経営者や従業員の福祉向上のための各種共済制度を実施しております。

経営者・役員・従業員とご家族の安心の保障を準備するために中央会の共済制度をご活用ください。

従業員のための
退職金準備に

特定退職金共済制度

従業員さまの定着が図られ、
安定した退職金準備が
できる共済制度です。

経営者・従業員のための
万一の保障

団体扱生命保険

☆オーナーズプラン

経営者の

各種リスクマネジメントのために

☆パートナーズプラン

役員・従業員の皆さまの
保障準備をサポート

団体扱※(月払)の場合、
一般扱(口座振替扱月払等)で
ご契約いただくよりも、
保険料が割安になります！

業務上の災害の備えに

業務災害補償保険

事業活動にかかわる
従業員さまの労災事故などのリスクを
カバーする保険です。

病気やケガで働けなく
なったときのために

所得補償保険

病気やケガによる
入院・自宅療養により
働けなくなった場合に、
サポートする保険です。



組合と共に明日を拓く中央会

鹿児島県中小企業団体中央会

(総務企画課)

TEL : 099-222-9258 FAX : 099-225-2904

※団体扱とは、鹿児島県中小企業団体中央会が団体扱としてお申込みいただいた各保険契約の保険料を取りまとめ、一括して各保険会社へ払い込む取り扱いのことです。一部対象とならない商品・契約がありますので、詳細はお問い合わせください。

CONTENTS

特集 「特定地域づくり事業協同組合シンポジウムin奄美市」開催!!	2
中央会の動き.....	8
● (仮称)鹿児島県中小企業会館の起工式を執り行いました	
● 組合の決算実務について学ぶ ～組合決算講習会を開催～	
● 資産運用について学ぶ ～第3回組合事務局講習会を開催～	
● 第3回 青年部会長杯 チャリティゴルフ大会を開催 ～県中小企業団体中央会青年部会～	
● かごしま食品産業フェア(商談会・会員交流会)を開催 ～県食品産業協議会～	
教えてぐりぶー!組合運営.....	11
第99回「寄付金の会計等の処理」について	
業界情報 令和6年1月 情報連絡員報告	12
倒産概況 令和6年2月 鹿児島県内企業倒産概況	15
中央会関連主要行事予定.....	16

窓の外には雄大な桜島をご用意いたしました



ホテル ⇄ 中央駅・天文館 無料シャトルバス運行!

鹿児島 サンロイヤルホテル

 〒890-8581 鹿児島市与次郎1丁目8番10号
 TEL 099-253-2020 FAX 099-255-0186
<https://www.sunroyal.co.jp>


なんぎん スマホde住宅ローン


 自宅に居ながら
 住宅ローンが
 申し込める!
さっそく
アクセス!POINT! ① いつでもどこでもお申し込みできます!
(当行に取引がなくてもOK)

POINT! ② 入力項目は必要最低限!

POINT! ③ いくらまで借入可能かを提示します!
(購入予定の物件がお分かりの方)

南日本銀行 住宅ローンセンター

土日も営業!

なんぎん 住宅ローン 検索

話せるところ 頼れるところ

<https://373net.jp>

0120-131-373

平日・土・日も営業! 午前9時～午後5時

南日本銀行

「特定地域づくり事業協同組合」開催!!



令和6年1月18日(木)、19日(金)の2日間、「特定地域づくり事業協同組合シンポジウム in 奄美市」を開催しました。

初日は、「アマホーム PLAZA」で特定地域づくり事業協同組合の最近の設立・運営事例と運営上の留意点、関係者によるパネルディスカッションを行い、会場及びオンラインで100名近い関係者が参加しました。

2日目は、奄美市しまワーク事業協同組合の組合員企業(派遣先)や事務局を訪問し、視察研修を行いました。

本特集では、2日間にわたるシンポジウムの模様をご紹介します。

DAY1 基調講演「特定地域づくり事業協同組合の最近の特色事例と運営上の留意点」

講師：総務省自治行政局地域自立応援課地域振興室 課長補佐 熊坂仁志 氏

特定地域づくり事業協同組合とは、地域全体の仕事を組み合わせて年間を通じた仕事を作り出し、組合が雇用した職員を事業者へ派遣する仕組みです。

財政支援や労働者派遣法の特例措置があるなど画期的な制度となっていることもあり、令和5年12月末現在で、全国で94組合が特定地域づくり事業協同組合の認定を受けています(本県内は7組合で全国第2位)。

本制度は単なる地域事業者の人手不足解消を目的としたものではなく、派遣職員が地域活性化に向けて活躍できるよう行政・組合・事業者が一体となってサポートに努めていく必要があります。

令和5年10月1日現在、特定地域づくり事業協同組合に雇用された派遣職員の約7割が地域外からの移住者です。

また、多くが派遣職員の確保を課題に挙げていますが、採用活動については、補助対象経費でもある広告宣伝費を有効活用し、人材募集サイトや組合HPなど様々なチャンネルを複合的に活用することが重要です。



①地域外からの人の流れの創出

○派遣職員の約7割が地域外からの移住者
制度開始以降、令和5年10月1日までに採用された派遣職員421人の居住状況



DAY1 設立・運営事例紹介

事例①：事業者主体型

講師：ヨロンまちづくり協同組合 理事長 川畑 力 氏

<要旨>

ヨロンまちづくり協同組合は、令和4年4月1日に設立しました。現在の組合員は、介護施設や農業サービス業など9社で、派遣職員は6名です。

SMOUTの活用や役場知人の紹介で採用活動を行っています。また、オンラインを活用するなど1人の応募者に対して複数回の面接を行い、さまざまな視点から採否を決定するよう心掛けています。

幅広い年代（20～60代）で、様々な経験を持つ派遣職員が在籍しており、それぞれが島の将来を真剣に考えていることに大変うれしく感じています。与論町の住宅事情が厳しい中、派遣職員のための空き家改修やシェアハウスの整備など、財政支援以外の部分でも町の協力が得られていることは心強いです。



事例②：中間型

講師：奄美市しまワーク協同組合 事務局長 長瀬 悠 氏

<要旨>

奄美市しまワーク協同組合は、令和5年5月15日に設立しました。現在の組合員は、ホテルや耕種農業など8社で、派遣職員は5名です。SMOUTやIndeed、ハローワークを活用する他、組合HPやSNSにより採用活動を行っています。離島生活のメリットだけでなく、デメリットについても丁寧に説明し、ミスマッチが起こらないよう努めています。

また、派遣職員の平均年齢は31歳と比較的若いものの、社会人としての一定のキャリアを有する職員が多く、派遣先では即戦力として活躍しています。以前、派遣職員の住居が見つからず、内定を辞退されたケースがあったことから、不動産業者との連携を密にし、スピード感のある情報提供に努めています。新聞報道等を見た市民や事業者等から、組合事業に大きな期待を寄せられていることに大変うれしく感じしており、人口減少や人材不足を島全体の問題と捉え、引き続き関係機関と連携しながら取り組んでいきたいと思っています。



事例③：行政主導型

講師：みなみたね地域創生協同組合 事務局長 日高孝之 氏

<要旨>

みなみたね地域創生協同組合は、令和4年12月6日に設立しました。

現在の組合員は、ホテル業者や耕種農業者など計9社で、派遣職員は2名です。ハローワークやかごしま移住ネットを活用する他、移住相談会等で採用活動を行っています。馬毛島の自衛隊基地工事の影響で、種子島全体の賃貸住宅が大幅に不足しており、積極的な採用活動に踏み切れない状況です。また、町職員が組合事務局に出向しており、町の農業振興施策の一環として、新規就農希望者等を対象とした派遣職員の募集も行っています。



DAY1 パネルディスカッション

テーマ：「特定地域づくり事業協同組合の設立パターン別の成功の秘訣を学ぶ」

特定地域づくり事業協同組合の設立について

中央会：特定地域づくり事業協同組合制度を知ったきっかけを教えてください。

川畑氏：鹿児島県中央会が発行する機関誌「中小企業かごしま」で制度を知りました。

金城氏：平成29年5月から令和2年3月まで和泊町の地域おこし協力隊として活動していました。町内事業者の人手不足を解消するため、日頃から情報収集を行っていた中、制度施行に関する新聞記事を読んだのがきっかけです。

長瀬氏：奄美市の地域おこし協力隊の時から、総務省のHPを定期的に確認しており、制度を知りました。

日高氏：県から役場に制度案内のメールが届いたのがきっかけです。

中央会：その後、どのような準備に着手しましたか。

川畑氏：鹿児島県中央会主催の説明会に出席し、制度の知識を深めました。その後、役場担当課や中央会と打ち合わせを行いました。

金城氏：沖永良部島全体で取り組みたいと考え、和泊町や知名町の役場担当課との意見交換を開始しました。

長瀬氏：奄美市企画課に制度活用を提案しました。その後、商工政策課など役所内で情報共有を図り、中央会職員を講師に説明会を開催し、知識向上に努めました。

日高氏：令和3年度に中央会に講師を依頼し、地域事業者を対象とした説明会を開始し、町内事業者にアンケート調査を行いました。令和4年7月には自身が設立担当補佐を拝命し、中央会の支援を得ながら準備を進めました。

中央会：みなみたね地域創生協同組合においては、役場職員である日高氏が事務局長として出向して

いますが、経緯を教えてください。

日高氏：役場が主体となって事業の早期実施を図るため、出向という形になりました。

中央会：参画事業者をどのように募ったのですか。

川畑氏：まずは自身が事業者を個別訪問し、制度を周知しました。なかなか周知が進まず頭を悩ませていたところ、役場にチラシを作製・配布いただいたことで一気に参画意思のある事業者を募ることができました。

金城氏：役場から事業者に制度説明会の案内をしていただきました。参加者アンケート結果を踏まえ、参画意思のある事業者に対しては個別説明を行いました。

長瀬氏：事業者を対象とした説明会を複数回開催した後、奄美市、参画意思のある事業者、中央会の3者で組織化の検討を行いました。

日高氏：事業説明会出席者に、アンケートを実施し、参画意思を確認しました。

中央会：加入に際して出資金が必要ですが、問題なかったですか。

川畑氏：個別に丁寧に説明することで合意を得ることができたため、特段の問題はなかったです。

中央会：理事や監事はどのように選出しましたか。

長瀬氏：地域おこし協力隊として観光連盟の事務局長を務めていた頃から、奥理事長をはじめとする役員の方々とはつながりがありました。特に奥理事長は、島全体のことを考える熱い思いを持った方のため、適任者と考えていました。また、その他の方々も役員への就任を快く引き受けていただけました。

中央会：設立準備期間における課題と解決策を教えてください。



総務省自治行政局
地域自立応援課地域振興室
課長補佐
熊坂 仁志氏



ヨロンまちづくり協同組合
理事長
川畑 力氏



奄美市しまワーク協同組合
事務局長
長瀬 悠氏



えらぶ島づくり事業協同組合
事務局長
金城 真幸氏



みなみたね地域創生協同組合
事務局長
日高 孝之氏

川畑氏：派遣元責任者の確保が課題でしたが、当初は地域おこし協力隊に就任してもらいました。

金城氏：令和2年6月から設立準備を始めましたが、地域おこし協力隊退任後で、収入がない状況が続き、生活が大変でした。

長瀬氏：様々なサポートがあり、大きな課題はありませんでしたが、私も準備期間中の生活面に少し不安がありました。

日高氏：設立手順が分かりませんでした。中央会に提供いただいた計画などを参考に、設立をゴールとして逆算して取り組むことができました。

中央会：設立時に財産的基礎を充足するため、市町村が組合に寄付金等を歳出した場合、特別交付税措置が行われていますが、全国の全ての設立事例で利用されているのですか。

総務省：多くの組合で利用されています（県内は全組合）。

中央会：財産形成の目的以外で特別交付税措置が行われた事例はありますか。

総務省：期限付き採用者の人件費や調査委託費、備品に係る経費など事例があります。

特定地域づくり事業協同組合の円滑な運用について

中央会：労働局への届出後、職員の採用活動に着手していますが、HP作成の工夫や留意点について教えてください。

川畑氏：町内の専門家に作成を依頼しています。打ち合わせの中で、与論らしさをアピールできる写真の掲載をお願いしています。

長瀬氏：自身がWeb関係に従事していたため、HPは費用をかけずに作成できました。こまめに更新し、鮮度を保てるよう心掛けています。また、連動しているSNSの更新時や奄美大島が報道された時などアクセス解析を行い、閲覧者の年齢層把握に努めています。

中央会：えらぶ島づくり事業協同組合が行っている「TikTok」や「Instagram」など、SNSの積極的な活用について教えてください。

金城氏：広報担当職員が様々なSNSプラットフォームを活用し、単なる情報発信でなく、沖永良部島や組合に少しでも興味を湧くような投稿を心掛けています。また、LINE公式アカウントも作成中であり、2月から運用する予定です。その中で、島での生活の発信やオンライン相談、求人情報等を掲載し、SNSのフォロワーをLINEに誘導することで、地域づくり人材の採用につなげていきたいと考えています。

中央会：和泊町が移住スカウトサービス「SMOUTの移住アワード2023上半期」で、全国第2位と評価されていますが、他との差別化をどのよ

うに図っていますか。

金城氏：他との差別化は特別意識していませんが、島暮らしに興味を持ってもらうことに重点をおいて記事を作成しています。また、採用したい人物像を明確にし、そのターゲットに刺さるキャッチコピーや写真などを掲載しています。

中央会：ハローワークを活用した採用活動について教えてください。

日高氏：安心感があることから、ハローワークをメインに採用活動を行っています。現在1名を採用しましたが、ハローワークとの連携が取れたことで、掲載内容についても随時指導をいただいています。

中央会：採用面接時に心掛けていることはありますか。

金城氏：島での生活に適性がある方かどうかを見ています。湿度が高いことや台風によるライフラインの停止、輸送コストによる生活費高などのデメリットもしっかりと伝え、移住してからギャップが生まれないよう留意しています。また、能力や職歴だけでなく人柄重視による採用活動を展開しています。

長瀬氏：採用は慎重に進めるように心掛けています。私達もデメリットを丁寧に伝えることで、移住後に戸惑うことがないように注意しています。また、内定後も定期的にオンラインでフォローを行っています。

中央会：派遣職員（移住者）の住宅確保策について教えてください。

長瀬氏：不動産業者とは連携を密にして、住宅確保に努めています。また、家主が他人には貸したくないといったような事例もあります。しかし、組合の概要や入居予定者について丁寧に説明し、安心してもらえるよう努めています。

中央会：行政と連携した住宅確保策について教えてください。

川畑氏：町が空き家をシェアハウスに改修中で、派遣職員の住宅として借用できる予定です。

金城氏：和泊町の「しま暮らし体験住宅」や知名町の「移住促進住宅」への入居を勧めています。また、教員住宅の空室が多くなっていることから、派遣職員が借用できるよう協議を進めています。

中央会：南種子町における、馬毛島開発工事の影響について教えてください。

日高氏：種子島全土において空き家がほとんどなく、空いた場合でも家賃が高騰するなど大変厳しい状況です。そのような中、町の企画課と連携しながら空き家バンクを活用し、住宅確保に努めています。採用の流れに合わせて、きめ細かな情報共有に努めています。

中央会：派遣職員の住居確保策において全国での好事例があれば教えてください。

総務省：全国的に住宅確保には苦労しています。そのような中、奈良県川上村では村営住宅の提供、山形県小国町では県の家賃補助、長野県生坂村では空き家バンクとの連携による既存物件の改修費用補助などが行われています。住宅確保は組合だけでは限界があるので、自治体との連携が非常に重要です。特定地域づくり事業協同組合の派遣職員が、地域活性化に貢献していることを住民等にアピールすることで、地域からのバックアップが受けられ、課題解決につながるのではと考えています。

中央会：派遣職員への生活面のサポートは、どのようなことを行っていますか。

川畑氏：町内事業者と連携し、車やバイクの確保に努めており、派遣職員の求めに応じてすぐに提供できるような体制づくりを進めています。

金城氏：職員間のLINEグループを作成しており、島内のイベント情報や、中古車の情報などを発信しています。また、入職時の歓迎会やバーベキューなどの交流会など、気軽にコミュニケーションが取れる機会を多く提供しています。

中央会：ペーパードライバーの職員が多いようですが、何か対応をされていますか。

金城氏：都市部からの移住者は、免許を持っていても全く運転しないという方が多いです。そのような場合はペーパードライバー講習の受講を勧めるなど、生活面でのサポートを心掛けています。

中央会：派遣職員の昇給基準について教えてください。

金城氏：毎年4月に、平均2,000円の昇給を実施しています。各派遣期間が終了する度に派遣先の担当者から職員の評価表を提出いただき、昇給の参考にしています。

中央会：派遣職員の福利厚生について教えてください。

金城氏：資格取得応援制度を設け受験料の補助や、受験日を特別休暇とするなどバックアップに努めています。

中央会：派遣職員が派遣先に就職することや起業についてどのように考えていますか。

金城氏：派遣職員が様々な仕事を経験する上で、希望があれば派遣先への就職や起業を応援していきたいです。

中央会：派遣職員を未経験の職種に派遣した際のエピソード等について教えてください。

金城氏：未経験の職員を介護施設に派遣した際、はじめは命を預かる重圧や認知症の方への対応の難しさを感じていましたが、組合や派遣先での相談対応をきめ細かに行った結果、介護の業務に

関心を持ち、現在では、介護福祉士の取得にチャレンジしています。

中央会：派遣先のニーズを満たすために工夫していることを教えてください。

長瀬氏：加入の段階で、組合は地域発展に貢献するための組織であることを説明しています。併せて、必要な時に派遣できない場合や、逆に受入をお願いする場合もあることも説明し、理解を得るようにしています。また、組合員を頻繁に訪問し、現状や見通しをヒアリングすることで詳細なニーズを把握しています。

中央会：派遣先との良好な関係構築について心掛けていることがあれば教えてください。

川畑氏：派遣先とは電話やメールだけでなく、対面の機会を増やすことで、良好な関係の構築に努めています。

長瀬氏：派遣先の代表者だけでなく、現場責任者とのコミュニケーション機会を増やし、実態の把握に努めています。また、SNSなどで密にやり取りしながら、些細なことでも連絡が取りあえる関係性を構築しています。

中央会：これまでに組合員の新規加入はありましたか。

川畑氏：認定こども園やスポーツ施設を運営するNPO法人が新たに加入しました。特に、認定こども園は、年間を通して派遣ニーズが高いことから、設立時から声掛けをしていました。

金城氏：携帯電話ショップや児童福祉施設、農業等の事業者が加入しました。最近では、派遣職員の良い評判が口コミで拡がり、島内事業者の加入申込が増加しています。島の様々な場所にポスターやパンフレットを設置しており、問い合わせも増えています。

中央会：本会の設立支援（説明会の開催等）や運営支援（「アドバイザー派遣事業」による支援、「鹿児島県特定地域づくり事業協同組合連絡協議会」による支援、補助金実績報告書の作成支援等）についてどのように捉えていますか。

川畑氏：設立の準備の段階では、役場との連携の機会を作ってもらったり、事業者向け説明会を複数回開催いただくなど、中央会の支援なしでは設立できなかったと考えています。また、労働者派遣事業の実務についても丁寧に説明いただき大変助かっています。今後も、電話やメール、オンラインでの対応に加え、現地での対応も可能な限り増やしてほしいです。

金城氏：日頃から運営会議のサポートをしてもらっていますが、現地指導の機会をさらに増やしてほしいです。

長瀬氏：いつも丁寧に対応いただいています。運営に

慣れるまでは、現地指導を継続してほしいです。

日高氏：あらゆる質問に、常に丁寧に対応いただき感謝しています。

中央会：川畑理事長は、鹿児島県特定地域づくり事業協同組合連絡協議会の会長にご就任いただいておりますが、活動内容等について教えてください。

川畑氏：労働者派遣事業を適正に運営するための研修会や有効な人材採用について学ぶためのセミナーなど積極的に取り組んでいきます。引き続き横のつながりをより強固なものにして、情報共有を活発にできる組織にしていきたいです。

今後の事業展開について

中央会：えらぶ島づくり事業協同組合は、令和4年10月から有料職業紹介事業を実施していますが、実績等について教えてください。

金城氏：これまで30名以上を事業者に紹介しました。内訳は、農業バイト、地域おこし協力隊の他、ホテル、観光業、自動車販売店、スーパーなどです。

中央会：有料職業紹介事業による成果を教えてください。

金城氏：様々な仕事がある中で、島暮らしに興味を持ってもらい、定住につなげています。

中央会：ヨロンまちづくり協同組合では、今後の事業展開をどのように検討していますか。

川畑氏：我々も有料職業紹介事業の実施を視野に入れています。島で活躍できる人材を可能な限り多く呼び込み、労働者派遣事業と併せて島の活性化につなげていきたいと考えています。



登壇者による記念撮影

DAY2 現地視察

2日目は、現地参加者を対象に、奄美市しまワーク協同組合の組合員である「株式会社元井農園」や「株式会社ばしゃ山」に加え、「組合事務局」の視察研修を行いました。各参加者は、それぞれが抱えている課題等について質問し、派遣先代表者及び派遣職員の声を直接聞くことで、解決策や今後の取り組みについてヒントを掴んでいました。



(仮称) 鹿児島県中小企業会館の起工式を執り行いました

2月20日、(仮称) 鹿児島県中小企業会館の起工式が関係者参列のもと執り行われました。

起工式では、建築主である小正芳史中央会会長等による刈り初めや設計・施工主による穿初め、杭打ちが行われたのち、玉串奉納を行い、工事の安全祈願を行いました。

小正会長は「天候にも恵まれ、素晴らしい起工式となった。これまで尽力された関係者の方への感謝とともに、中小企業の発展に資する会館の竣工を楽しみにしたい。」と述べられました。



小正会長の挨拶



完成イメージ

(仮称) 鹿児島県中小企業会館
 建設地：鹿児島市城山町1番7
 建築主：鹿児島県中小企業団体中央会
 鹿児島県商工会連合会
 鹿児島県火災共済協同組合
 鹿児島県経済事業協同組合
 工期：令和6年2月～令和7年3月
 設計監理：鹿児島県建築設計監理事業協同組合
 株式会社武田建築事務所
 施工者：三和建設株式会社

組合の決算実務について学ぶ ～組合決算講習会を開催～

2月14日、鹿児島市の「ホテルレクストン鹿児島」において、組合決算講習会を実施しました。

講師に税理士法人さくら優和パートナーズ鹿児島中央支店長 貫見昌良税理士をお招きし、組合の決算実務についてお話いただきました。

講習会では、決算期の事務手続きや決算整理の手順をはじめ、インボイス制度（令和5年10月1日開始）や改正電子帳簿保存法（令和6年1月1日開始）についての説明があり、参加者は実務における対応方法を学ぶとともに、インボイス制度について理解を深める良い機会となった様子でした。



講習会の様子

ありがとう 地域に感謝！



しま 郷土のくらしを見つめる

奄美信用組合

理事長 手島 博久

奄美市名瀬港町12番2号 TEL 0997-52-7111
<https://www.amamishinkumi.co.jp>



資産運用について学ぶ ～第3回組合事務局講習会を開催～

2月21日、鹿児島市の「ホテルレクストン鹿児島」において、第3回組合事務局講習会を実施しました。

講師に株式会社リスクマネジメント・ラボラトリー鹿児島支店長花田浩一氏をお招きし、「貯蓄から投資へシフト！～NISA、iDeCoの拡充から見る金融リテラシー～」をテーマにご講演いただきました。

花田氏は、「日本はバブル崩壊まで、預貯金を中心に財産を持つておくことが『賢い判断』とされる傾向にあったため『貯蓄志向』を強くさせた。これでは、主要国との差が広がるばかりで、今後は自分の資産を投資で運用していくことが必要となってくる。」と述べました。参加者は、資産運用の考え方について学ぶとともに、NISAやiDeCoについての理解を深める良い機会となった様子でした。



講習会の様子

第3回 青年部会長杯 チャリティゴルフ大会を開催 ～県中小企業団体中央会青年部会～

2月27日、始良市の「鹿児島高牧カントリークラブ」にて、本会青年部会（堂園春樹会長）が「第3回 青年部会長杯 チャリティゴルフ大会」を開催しました。本大会は、会員相互の交流と親睦を図ることを目的に毎年開催しています。当日は、天気にも恵まれ絶好のゴルフ日和となり、参加した16名のプレーヤーは日頃の練習の成果を存分に発揮していました。

なお、本大会のチャリティ募金は、毎年3月に実施している「青年部会ボランティア事業」に充てられます。



チャリティゴルフ参加者の皆様

かごしま食品産業フェア（商談会・会員交流会）を開催 ～県食品産業協議会～

2月27日、鹿児島市の「mark MEIZAN」において、県内の食品関連の組合や事業者で組織する鹿児島県食品産業協議会が、会員間の交流促進や企業のPRを目的に「かごしま食品産業フェア」を開催しました。

会場には、会員企業8社がブース出展し、併せて開催された講演では、千葉県で食品問屋を営む、(株)五味商店 代表取締役 寺谷健治氏を講師として「地域製品の販路開拓と現在の食品流通2024」についてご講話いただきました。参加者は、自社商品の展示及び試飲・試食を通じて自社の取り組みを紹介する等、相互に交流を深めていました。



株式会社五味商店
代表取締役 寺谷 健治 氏



商談会の様子

大樹生命保険株式会社

生命保険団体扱オーナーズプランのご案内 **大樹生命**

BESTパートナー



「経営者のリスクマネジメント」を目的に
組合員がご契約者となる生命保険契約です。

Owner's Plan

鹿児島県中小企業団体中央会が事前に認めた会員組合に所属する組合員がご契約者の場合、団体扱となり、一般扱(口座振替扱月払等)よりも**割安な保険料**でご契約いただけます。

* 団体扱とは、鹿児島県中小企業団体中央会が団体扱としてお申し込みいただいた各保険契約の保険料を取りまとめ、一括して当社へ払い込む取り扱いのことです。

* 一部対象とならない商品・契約がございます。
* 詳しくは、「商品パンフレット」をご覧ください。ご検討にあたっては、「設計書(契約概要)」「特に重要な事項のご説明(注意喚起情報)」「ご契約のしおりー約款」を必ずご覧ください。

お取り扱いの詳細は、下記までお問い合わせください。

よりそう保険。



大樹 Taiju Select
セレクト

無配当保障セレクト保険

あなたにぴったりの保障を自由にセレクト!

詳しくは、「商品パンフレット」をご覧ください。ご検討にあたっては、「設計書(契約概要)」「特に重要な事項のご説明(注意喚起情報)」「ご契約のしおりー約款」を必ずご覧ください。

オーナーズプランは、上記以外の商品もお取り扱いしています。詳しくは下記までお問い合わせください。

大樹生命保険株式会社 南九州支社

〒892-0846 鹿児島市加治屋町18-8 TEL:099-226-6311

<https://www.taiju-life.co.jp/>

鹿児島営業部 099-226-6312 谷山営業部 099-808-3150 鹿屋中央営業部 0994-40-1557

川薩営業部 0996-23-6588 霧島営業部 0995-45-4145

R-2021-1007 (2021.10)

第99回「寄付金の会計等の処理」について

災害義援金等として寄付金を支出した際の会計及び
税務上の処理を教えてください？



はい!お答えします!



税法上、「国、地方公共団体に対する寄附金」や「公益法人等に対する寄附金（指定寄附金）」は、**その全額の損金算入が認められませんが**、「その他の寄附金（一般寄附金）」については**損金算入限度額が設定**されており、寄付金控除を受けるためには、法人税確定申告で別表（14-2）と寄付先からの領収書等が必要です。

なお、組合等が寄付金を募り、まとめて地方公共団体等に支出する場合、この寄付金は**組合の収入ではなく「預り金」として計上**しますが、組合員等の寄付者が税制上の優遇措置を受けるためには、その旨を記載した「預り証」が必要となります。

<仕訳の例>

(1)個人、法人（会社、組合等）が寄付する場合

寄付金（費用）100 / 現預金（資産）100

(2)組合が募り、まとめて寄付する場合（組合側の仕訳）

①組合員から寄付金を預かった ※必要事項を記載した**預り証**を発行

現預金（資産）100 / 預り金（負債）100

②組合でまとめて寄付金を支出した

預り金（負債）500 / 現預金（資産）500



寄付金は事業とは関係のない支出になるので、損益計算書では**事業外費用**として表示するが～

鹿児島県内の景況について

令和6年1月

令和6年1月期における鹿児島県内45組合(傘下組合員数4,160社)の景況は次のとおり。

【前月比】

「業界の景況」は2ポイント、「売上高」は3ポイント、「収益状況」は1ポイント減少した。

主要産業である観光業では年末年始の帰省客等で売上を期待したが、物価高騰による消費者の買い控えの影響もあり、全体的に売上は伸び悩んだ。また、全体としては人件費の増加や人手不足を懸念する声が多くなった。

【DI値 前月比】

	前月	今月	比較結果
	令和5年12月	令和6年1月	
業界の景況	-7	-9	↓
売上高	-2	-5	↓
在庫数量	-5	-1	→
販売価格	11	7	↓
取引条件	-5	-5	→
収益状況	-11	-12	↓
資金繰り	-6	-3	→
設備操業度	-3	-2	→
雇用人員	-8	-8	→

【前年同月比】

「業界の景況」が6ポイント、「売上高」が11ポイント回復した。昨年度に比べインバウンドや新型コロナウイルスの5類移行等で人流が増加するなど見通しは明るさを取り戻しつつある。

一方で、「販売価格」は10ポイント低下しており、原材料・人件費等の高騰分を十分に転嫁できていない状況である。

【DI値 前年同月比】

	前年	今月	比較結果
	令和5年1月	令和6年1月	
業界の景況	-15	-9	↑
売上高	-16	-5	↑
在庫数量	-8	-1	↑
販売価格	17	7	↓
取引条件	-8	-5	→
収益状況	-20	-12	↑
資金繰り	-15	-3	↑
設備操業度	-5	-2	→
雇用人員	-7	-8	↓

※比較結果(数値の範囲)

↑ = +10以上 ↗ = +5 ~ +9 → = 0 ~ +4 ↓ = -9 ~ -1 ↓ = -10以下

DI値とは、前月又は前年同月から「好転・増加」したとする回答数から「悪化・減少」したとする回答数を差し引いた値です。

製造業

【食料品(味噌醤油製造業)】

新年明け早々に発生した能登半島地震の影響が出たわけではないだろうが、景気の良い声が少ない月だった。原料等の荷動きも芳しくなく、しんみりとした状況で推移したひと月であった。

【食料品(酒類製造業)】

(令和6年1月分データ)

(単位:千%)

区分	R5.1	R6.1	前年同月比	
製成数量	3,696.0	3,736.4	101.1%	
移出数量	県内課税	2,123.8	2,225.5	104.8%
	県外課税	3,168.6	2,794.3	88.2%
	県外未納税	1,531.5	2,062.4	134.7%
在庫数量	192,257.2	191,343.1	99.5%	

【食料品(漬物製造業)】

組合未加入の県内漬物メーカー1社が倒産した。コロナの影響が大きかった模様である。資材、人件費の値上がりに対し、製品値上げの遅れている所は全国的に見ても厳しい様子。

【食料品(蒲鉾製造業)】

年明け早々、能登半島地震・羽田の航空事故による欠航が続き、お正月帰省等で予定していた売上にかなり影響がでた。全体で昨年比3%のダウンであっ

た。直売店は11%伸びたが、空港店は10%、百貨店は13%のダウンであった。特に、月初めの羽田の事故により飛行機の欠航が10日間程続いたことによる土産品の減少が大きなダメージとなった。今月から主原料のスケソウダラのSA級がKG単価30円安くなった。

【食料品(鯉節製造業)】

年明けはやはり消費減となり、また、鯉相場も下げられており製造業は厳しくなった。国内鯉は安くなり12月在庫の販売値が下がった。また、雑節原料も水揚げが多くなり安くなってきている。1月は全体的に雰囲気が悪い状況である。

【食料品(菓子製造業)】

年末年始の帰省客による土産品等、それなりに売上はあったようだが、小さな路面店は売上が伸び悩んだところもあったようだ。また、働き方改革により、営業時間の見直し等苦慮しているところも多いようだ。

【食料品(茶製造業)】

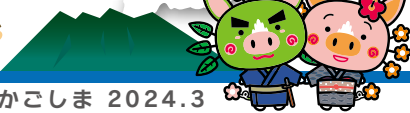
共販実績、前年度売上対比は105.2%(前年1月売上対比177.7%)であった。

【本場大島紬織物製造業】

原材料高騰により、価格転嫁に向けて交渉中である。2月23日~25日は、本場大島紬フェスティバルを商業施設で開催予定である。

【本場大島紬織物製造業】

検査反数は約15%減であった。1月の京都催事は



売上が上がらなかったが、ふるさと納税返礼品の売上があった。今後もこの制度の利用を期待している。

【木材・木製品】

年明けの木材市況は鳴かず飛ばずであった。売れず動かず値立たずのトリプルパンチの有様である。昨年比較での大幅な落ち込みは、今年度まで続くのではと危惧される。

【木材・木製品】

鹿児島県の11月分の新設住宅着工戸数は、831戸で前年同月比115%、うち木造は、655戸で122%と増加しているものの、持ち家は243戸で78%と依然厳しい状況が続いている。県産スギ丸太4m中目材の12月の価格については、前年同月比84%と昨年からすると15%以上の大幅値下げであった。一方、スギ製品の柱角、土台角等の価格は、前年同月比91~93%、KD材は前年同月比88%。スギ製品は令和4年の8月から僅かずつではあるが、常に下がり続けている。

【生コン製造業】

対前年比で、官公需、民需合計105.7%となった。対前年比で、増加した地域は10地域（増加率順に喜界島630.1%、串木野146.5%、奄美大島146.1%）となっている。一方、7地域が減少（減少率順に屋久島50.1%、奄美南部46.1%、垂水桜島45.2%）した。なお、鹿児島地域は対前年比で官公需103.3%、民需96.4%、合計

90.7%となっている。

【コンクリート製品製造業】

1月度出荷量は、7,199トンの前年度同月比97.2%となった。出荷実績は鹿児島地区、川薩地区のみ前年度同月比を上回り、他地区は同等または下回る結果となった。特に始良・伊佐地区においては前年度同月比76.2%となった。1月度の受注量についてはようやく前年度並みになってきたが、おそらく今年度の出荷量は過去最低になることが予測され、今後の受注量増加を期待したい。

【鉄鋼・金属（機械金属工業）】

全国的に建設コストの上昇や人材不足により鉄骨需要の伸び悩み傾向が続いているが、働き方改革による週休2日制の導入や長時間労働の是正で供給量も減少しているようにみられる。

【畳製造業】

1月は12月に消化できなかった仕事に対応している。畳表の価格も高止まりである。

【印刷業】

令和6年は能登半島の大きな地震災害から羽田空港での事故など、厳しく大変なスタートとなった。昨年から例年通りに開催している新年会も今回は祝宴を自粛し、寄付金、義援金に充てることとした。自然災害、事故も他人事ではなく日々の危機管理として教訓とせねばならない。

非 製 造 業

【水産物卸売業】

昨年同月比で、数量108.8%、金額100.6%、単価92.5%となった。12月初旬は海がしけていたが、中旬から月末にかけては、コロナの心配もなく水揚げは順調であった。また、養殖物に関しても、1月1日からお店も開けるので激しい動きはなかった。加工物は売れたが、1匹の物は、売りは良くなかった。

【燃料小売業（LPガス協会）】

2月積みサウジアラムコ産の液化石油ガスはプロパン630ドル（前月比+10ドル）、石油化学原料のブタンが640ドル（前月比+10ドル）と若干上昇した。需要期にも関わらず暖冬のため需要は低迷、中国の石化需要が下支えした。OPECプラスの協調減産等により需給の影響が懸念されるが、インドはロシア産原油を大量に購入、製油所生産が増

加の一方、LPガス輸入需要は低迷している。

【中古自動車販売業】

新春を迎え、動きが出てきたようである。県外資本の大型展示が元旦よりオープンしてそれぞれ前年を上回る実績を出し、販売台数が伸びているようである。その分、会員販売店が厳しさを増し、苦戦を強いられている。今後の需要時期に期待したいものである。

【青果小売業】

歳末商戦の反動・原価高により消費が鈍化した感がある。

【農業機械小売業】

久しぶりに減少が止まったが、先行きは不透明である。各社の努力に頭が下がる。

【石油販売業】

業界の懸念材料にトリガー条項凍結解除の事態があ



保険料率変更のお知らせ



◎健康保険料率【鹿児島】

10.13%

（前年度は10.26%）

◎介護保険料率【全国一律】

1.60%

（前年度は1.82%）

※40歳以上65歳未満の方(介護保険第2号被保険者)は、健康保険料率に介護保険料率が加わります。
※健康保険料と介護保険料は、労使折半です。

令和6年3月分(4月納付分)からの変更となります。

一人ひとりの健康づくりが、保険料率を下げる大きな力になります！

る。様々な流通段階で混乱を招くことが予想される。これから3党協議に入る様であるが、災害復興財源を確保すべき時期に不信感も漂っている。一方、原油高と円安で激変緩和事業の出口戦略も見通せない状態にあり**石油製品の出荷も芳しくない**。同時に人手不足・人件費等のコストアップがボディーブローの如く効いている。

【鮮魚小売業】

1月は**シケで魚が少なく高値で推移した**。寒さで**客足も悪く**、「刺身」等の動きも悪かった。成人の日も家で作らなくなり平常日と同じような感じであった。

【運動具小売業】

1月は、昨年と比べると**売り上げが悪く**、活気がなかった。能登半島地震が影響したせいか、今年は初月からあまり良くない状況であった。何とか打破する事を考えていきたい。

【商店街（始良市）】

新設される市の施設と大手チェーンドラッグストアの建設が進み、形が見えてきたこともあり、商店街に新しい風が吹こうとしている感じがする。1月は能登半島の影響もあり自粛モードになっていたが、少しずつ**客足が戻ってきている**ようにも見受けられる。

【商店街（鹿児島市）】

令和6年1月はコロナ前と同等の経済状況になったと感じる。商店街としては年始の商戦後、少し中だるみの状況にあると思われるが、価格の転嫁は心配したよりスムーズにできており、商売のモチベーションは間違いなく上がっている。地震・火災などの自然災害に対しても、商店街として**BCP計画の着手**に入った。コロナ資金の返済には注視する必要があり、当組合員でも資金繰りに苦労している実態がある。

【商店街（鹿児島市）】

寒さが続いたためか、通行量が激減した。商品券事業が終わり、**売上が見込めない状況**である。

【サービス業（旅館業 / 県内）】

インバウンド増加傾向である。**販売価格は増加しているが、費用が増加しており収益は上がっていない**。

【測量設計業】

年々人材確保が難しい時代になってきている。各社インフレ率を上回る賃金上昇率を達成しなければならない。社内改善に取り組みスパイラルアップを繰り返し、高収益体質の社内体制構築が急務となる。県内業者が隅々まで潤うためには県や市町村からの委託業務発注が急務となる。当業界の公共事業は、県内業者において対前年度比約94%の事業量にとどまっており、**各社売上金額が下がっているが、補正予算が成立したため今後の業務をどれだけ受注できるかにかかっている**。

【旅行業】

物価高の影響で販売価額は増加傾向である。インバウンド需要の回復に伴い売上も増加傾向にある反面、人件費の増加や人手不足は慢性化してきている。

【建築設計監理業】

1月の公共団体等の入札状況は、件数で6件、契約

金額で約850万円であり、前年同月（7件、約3,500万円）と比較すると、件数ではほぼ同数であったが契約金額では昨年4月以来の減となった。また、12月の新設住宅着工戸数は968戸で、**対前年同月比（1,019戸）は5.0%の減**となったが、ここ数年の12月の中では昨年について2番目に多い戸数となった。

【自動車分解整備・車体整備業】

1月は毎年スタート時で暇になる傾向にある。**今年も同様の動向だった**。昨年から普通車が電子車検証になったが軽自動車に於いても今年1月から電子車検証の交付が始まった。

【電気工事業】

電気業界では現在、**電線・ケーブルの入荷が困難な状態**にあり工程を組むことが難しい状況である。今後も当分の間続くものとみられる。

【造園工事業】

今年の1月は、公共工事の街路樹・高木剪定・樹木整枝剪定業務等があり、例年通りの推移であった。今年は国体等の特殊要因も無いので割と大きな波もなく推移していくと思われるが、業務の発注において、造園業界を取り巻く環境は厳しいものがあり、また、**慢性的な人手不足**なので、苦しい事業展開が予想されるのではと苦慮しているところである。

【管工事業】

繁忙期を迎え、技術者の不足が多く見受けられるようになってきた。**人材不足や働き方改革等の影響もあり**、以前完了できていた仕事量が捌ききれず残ってしまうケースが散見される。

【建設業（鹿児島市）】

能登半島地震により、避難路の確保、速やかな道路啓開が必要であり、地元建設業が不眠不休で取り組んでいる。**防災・減災、国土強靱化の取組みの重要性を再認識**することになった。速やかな復興、復旧が進むことを願っている。

【建設業（奄美市）】

二次製品共同購入は少しずつあった。**セーフティネット借入も少しあった**。

【貨物自動車運送業】

県下159運送事業者の燃料購買動向は、前月と比較して**89.60%に減少**、前年同月と比較して91.25%に減少した。

【運輸業（個人タクシー）】

新年早々の能登半島地震に続いて羽田空港における航空機事故と悲しい出来事が続いた。経済の動きとしては、去年のコロナ緩和以降は最悪な状態であったコロナ禍の頃を忘れるほどであったが、1月の成人式以降は**例年のごとく緩やかに進んでいる**。

【運輸・倉庫業】

食品等の値上げの影響か**物量は昨年と比べて落ち込んでいる**。2024年問題で各社、荷積み荷卸し時間の短縮に取り組む中、荷主に対して協力をお願いしている状況である。長距離乗務員の確保で苦労している。

令和6年2月 鹿児島県内企業倒産概況

(負債額 1,000 万円以上・法的整理のみ)
 (株)帝国データバンク 鹿児島支店

件数 6 件 負債総額 6 億 2,100 万円

〔件数〕 前年同月比 2 件減 〔負債総額〕 前年同月比 48.9%増

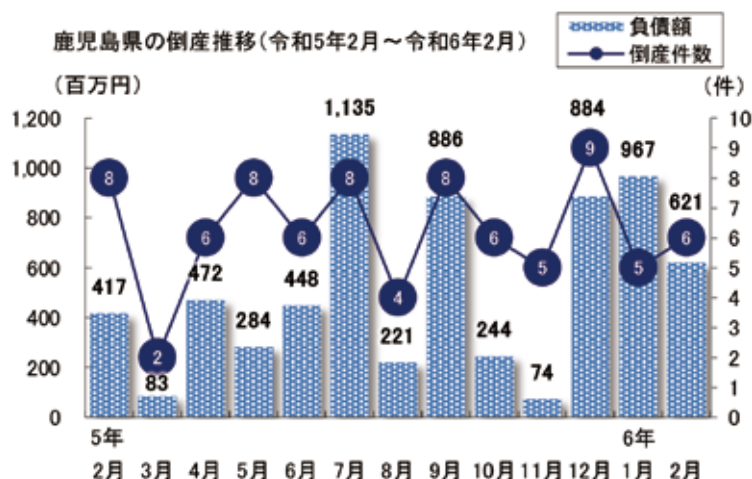
ポイント

～件数は前年同月比減、
負債総額は前年同月比増～

◆倒産件数は 6 件で前年同月比 2 件減、前月比 1 件増。

◆負債総額は 6 億 2,100 万円で前年同月比 48.9%増、前月比 35.8%減。

◆新型コロナウイルス関連倒産は 4 件。



【今後の見通し】

令和6年2月の倒産件数は6件と6ヵ月ぶりに前年同月を下回っており、単月でも2年振りに減少した。

新型コロナウイルス関連倒産は4件と前月より2件増加した。

今後の見通しとしては、スーパーストアやドラッグストアなど量販店における飲食料品販売は底堅く推移しており個人消費は回復基調にあるが、製造・農畜産業においては為替動向や物価高騰などの影響が大きく、収益面に不安がある企業も多いことから、景気動向は一進一退の状況であり、倒産件数の増加基調は続くものと推察される。

令和6年2月 主な企業倒産状況 (法的整理のみ)

企業名	業種	負債総額 (百万円)	資本金 (千円)	所在地	態様	備考
(株)J	電力制御装置等製造	340	17,500	大隅地区	特別清算	
(有)M	とび・土工工事	150	3,000	鹿児島市	破産	新型コロナウイルス関連倒産
(株)U	菓子製造小売	48	1,500	鹿児島市	破産	新型コロナウイルス関連倒産
(有)K	仏壇製造販売	30	10,000	南薩地区	破産	新型コロナウイルス関連倒産
(株)H	眼鏡製造	28	10,000	鹿児島市	破産	
(株)A	五月人形・鎧・甲冑販売	25	1,000	北薩地区	破産	新型コロナウイルス関連倒産

※主因別は、「販売不振」が6件。

第69回 中央会通常総会

■日 時 令和6年6月10日(月) 15:00～

■場 所 鹿児島市
[SHIROYAMA HOTEL kagoshima]
(城山ホテル鹿児島)

☆お問い合わせは総務企画課まで

令和6年4月

3日(水) 14:00～	事業環境変化対応型支援事業 「経理担当者必見!インボイス制度開始後はじめての決算実務セミナー」 鹿児島市「鹿児島サンロイヤルホテル」
23日(火) 14:00～	中央会理事会 鹿児島市「鹿児島サンロイヤルホテル」

※各種都合により、変更になる場合は改めてご案内いたします。

編集後記

今年の冬は例年に比べ比較的暖かく、過ごしやすかったが、年初早々に能登半島沖を震源とする地震や羽田空港の事故等驚くニュースが立て続けに入り、波乱の幕開けとなりました。

特に、能登半島沖地震では、現在でも懸命な復旧・復興作業が続いていますが、被災された方々の1日も早い生活の再建を願ってやみません。

本会でも義援金の協力をお願いしましたところ、多数のご賛同を賜りました。ご協力いただきました組合や関係者の皆さまに改めて御礼申し上げます。

私自身、中央会に入職して約9か月が経ちましたが、今年起きた出来事を自分自身に置き換えた時、中央会職員として何ができるか日々考えながら業務にあたる毎日です。このような非常事態にも冷静に対応できる職員になるために、日頃の自己研鑽を欠かさず、1日も早く皆さまのお役に立てるよう精進してまいりますので、今後ともよろしく願いたします。

(連携情報課 久保)



表紙・本文中で登場するぐりぶー&さくらとその子供達は鹿児島県のPRキャラクターです♪

©鹿児島県ぐりぶー・#811

お問い合わせ

鹿児島県中小企業団体中央会

鹿児島市名山町9番1号 県産業会館5階

TEL:099-222-9258 FAX:099-225-2904

情報誌へのご意見・ご要望はこちらまで

magazine@satsuma.or.jp

今月の表紙

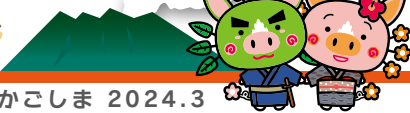
「慈眼寺公園のネモフィラ畑 (鹿児島市)」



「慈眼寺公園のネモフィラ畑」 © 鹿児島市

鹿児島市下福元町の慈眼寺公園では、毎年鮮やかなネモフィラ畑が広がりこの時期になると多くの観光客が訪れます。ネモフィラの見頃は、3月下旬から4月上旬で、花言葉には「清々しい心」、「成功」という言葉が秘められており、澄んだ青色の花びらが織りなす青い絨毯が訪れた人々を魅了します。

また、周辺には洋食店や神社などもあるのでこの機会にぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。



「できる」ことより、
「やりたい」ことが、
世の中を変える。

100年以上、焼酎に向き合いつづけてきた蔵元が、ウイスキーの新しい境地を切り拓く。鹿児島県の小正醸造はいま、自分たちの伝統と可能性を見つめ直し、世界へ挑もうとしています。私たち商工中金は、中小企業1社1社のそのつよい情熱に寄り添います。1つ1つの事業に、時間をかけて深く向き合い、確かな成果へ。「やりたい」から始まるすべてのビジネスは、きつつよい。
中小企業のその挑戦を、支えつづける。

◎ 商工中金のソリューション・メニュー | 海外展開支援 | 新事業進出支援 | 成長分野進出支援 | 生産性向上支援 |

鹿児島支店 〒892-0847 鹿児島市西千石町17番24号 TEL:099-223-4101



人を思う。未来を思う。

商工中金

最大 **33%** 割引

オールインワン補償「ビジネス総合保険」なら
サイバー攻撃等による損害も補償します!




中央会の

ビジネス総合保険

サイバー攻撃
以外にも

- 中央会のスケールメリットを生かした**割安な保険料水準!**
- 包括的な補償で**手続きがとっても簡単!**
- 保険期間途中で**変更手続きが不要**で、とっても安心!
- 脅威を増すサイバー攻撃への備えや、サイバー攻撃を受けた際の24時間365日無料相談窓口など、**時代に求められる特約**を用意。

さまざまなリスクをスッキリまとめて補償

	第三者に対する 損害賠償 製造物責任などの、業務上の偶然な事故による財物損壊等の賠償責任を補償!	+		万が一の 休業損害 偶然な事故による休業損害を補償! (営業自粛は対象外です)	+		財物の損害 偶然な事故による商品等の損害を補償!
---	--	---	---	--	---	---	------------------------------------

※商品設計や補償内容等については引受保険会社ごとに異なります

制度運営 **全国中小企業団体中央会**

お問合せ先 鹿児島県中小企業団体中央会
〒892-0821 鹿児島市名山町9番1号
鹿児島県産業会館5階
TEL:099-222-9258 FAX:099-225-2904

引受保険会社 **あいおいニッセイ同和損害保険株式会社**
損害保険ジャパン株式会社
東京海上日動火災保険株式会社
三井住友海上火災保険株式会社

●このチラシは、本制度の概要を示したものです。ご加入にあたっては必ず「重要事項のご説明」をご覧くださいとともに詳細は引受保険会社の約款、パンフレットに従います。

発行所/鹿児島県中小企業団体中央会

鹿児島県鹿児島市名山町9番1号 〒892-0821

電話:099-222-9258 FAX:099-225-2904

発行人/小正芳史 印刷所/株式会社イースト朝日

電話:099-266-5522 FAX:099-266-5523